

2020年度修了生の皆様 修了おめでとうございます

〈2020年度専任教員退任挨拶〉

佐々木 宏夫 教授

「会計研究科を去るにあたって」



早稲田大学では、教員は60歳から70歳の間に自分で定年退職の時期を選ぶ「選択定年制」が採用されておりますが、私は本年3月31日をもって定年退職することにいたしました。2004年に会計研究科の設立準備のための委員会の副委員長を務めさせて頂いて以来、17年間にわたり会計研究科で教育、研究に従事し、また運営にも携わって参りました。

会計研にはいろいろな思い出がありますが、一番印象に残っているのは研究科長に就任して約半年後に起きた東日本大震災のことです。あの震災では、早稲田大学でも少なからぬ校友、学生やご家族が被災されました。また、直接被災しなかった関東

地方でも、原発事故に伴う放射能漏れのリスクや計画停電の問題などが生じ、本学でも、卒業式と入学式を中止し、さらに授業を5月から開始するという事態になりました。そのため、修了（卒業）する学生は、学位記を事務所で受け取るということになりました。せっかくの晴れの舞台にそれでは可愛そうだと思ひまして、私は数日間に渡り一日中研究科長室に待機し、修了生が学位記を受け取りに来るたびに研究科長室に招いて、学位記を授与しました。あの震災は、辛く悲しい出来事でありましたが、学位記を授与しながら一人一人の学生と卒業後の抱負や会計研での思い出などについて話できたのは、不幸中の幸いとでも言うべき得難い経験でありました。その他、会計研の思い出はつきませんが、字数の関係もあり、最も記憶に残る思い出を述べさせて頂きました。

ところで、今回私が5年早めの退職をすることにしたのは、仕事から「引退」したいからではありません。むしろこれは新しい旅立ちの機会だと考えております。これからは組織の束縛を離れて自由な環境で、研究やその他の仕事に取り組んでいきたいと心を弾ませているところです。今後は「フリーランスの研究者」として生きていく覚悟しております。

「新型コロナ後」の社会は、大きく変わると思います。仕事においてはより厳しい社会になることが予想されますが、知恵と意欲に溢れた人間はその厳しさを乗り越えて、輝かしい未来を切り開けるものと確信しております。私も頑張りますので、どうか皆さんも頑張ってください。

佐々木先生ありがとうございました

今年の同窓会は、9月18日（土）に「会計研究科創設15周年記念シンポジウム・祝賀会兼同窓会」とともに開催予定です。同窓会に関する連絡は、代表幹事および会計研ウェブサイト・Facebookから行います。皆様にお会いできるのを教職員一同楽しみにしています。

会計研究科HP：<https://www.waseda.jp/fcom/gsa/>

会計研究科Facebook：会計研究科HPにアクセスし「会計研Facebook」を見てください。